２０１４年3月１８日

各　位

会 社 名　イ　オ　ン　株　式　会　社
代表者名　取締役兼代表執行役社長　岡田 元也
（コード番号８２６７　東証第一部）
問合せ先　秘　書　室　責　任　者　髙橋 丈晴
（電 話 番 号　０４３－２１２－６０４２）

当社子会社（マックスバリュ中部株式会社）業績予想の修正及び特別損失の計上について

最近の業績の動向等を踏まえ、当社連結子会社であるマックスバリュ中部株式会社（名証第２部：コード８１７１）が、特別損失を計上するとともに２０１３年４月９日に公表した２０１４年２月期の業績予想を添付資料のとおり修正することとなりましたのでお知らせします。

尚、本件による当社の連結業績予想の変更はありません。

以上

２０１４年3月１８日

各　　位

会 社 名　　マックスバリュ中部株式会社
代表者名　　代表取締役社長　鈴木　芳知
（コード番号：８１７１　名証第２部）
問合せ先　　取締役総合企画本部長　小泉　覚
（ＴＥＬ　０５２－８５７－０７１９）

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、２０１３年４月９日に公表しました２０１４年２月期の業績予想を、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

また、同期間において、下記のとおり特別損失を計上いたしますのでお知らせいたします。

記

１．業績予想の修正

（金額の単位：百万円）

2014 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正（2013 年 3 月 1 日～2014 年 2 月 28 日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	１５８,０００	2,９５０	2,９５０	1,２５０	３９円４８銭
今回修正予想（B）	１５３,０００	1,６００	1,７５０	３７０	１１円６９銭
増 減 額（B－A）	△5,０００	△1,３５０	△1,２００	△８８０	－
増 減 率　　（%）	△3.２	△４５.８	△４０.７	△７０.４	－
（ご参考）前期通期実績（2013年2月期）	１３４,９２３	1,５７３	1，６８２	４１	1円６２銭

※当社は 2013 年 2 月期より決算日を 1 月 31 日から 2 月末日に変更いたしました。これに伴い、当期(2013 年 3 月 1 日から 2014 年 2 月 28 日まで)と比較対象となる前期(2012 年 2 月 1 日から 2013 年 2 月 28 日)の期間が異なっております。

2014 年 2 月期通期個別業績予想数値の修正（2013 年 3 月 1 日～2014 年 2 月 28 日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	１５８,０００	3,２００	3,２００	1，５００	４７円３８銭
今回修正予想（B）	１５２,０００	1,７５０	1,８５０	４５０	１４円２１銭
増 減 額（B－A）	△6,０００	△1,４５０	△1,３５０	△1,０５０	－
増 減 率　　（%）	△3.８	△４５.３	△４２.２	△７０.０	－
(ご参考)前期通期実績(2013 年 2 月期)	１３４,５７９	1,６１８	1,７２１	１１３	4円４８銭

※当社は 2013 年 2 月期より決算日を 1 月 31 日から 2 月末日に変更いたしました。これに伴い、当期(2013 年 3 月 1 日から 2014 年 2 月 28 日まで)と比較対象となる前期(2012 年 2 月 1 日から 2013 年 2 月 28 日)の期間が異なっております。

２．修正の理由

２０１４年２月期通期においては、業種業態を越えた競合他社とのシェア争奪や価格競争が激しさを増す厳しい経営環境が続く中、売上高については下期累計で既存比９８.４％（上期累計９６.７％）と、下期に入り若干回復傾向となったものの、年間累計で既存比９７．５％（当初計画９９.６％）に終わり、営業収益は連結・単体ともに計画を下回る見通しとなりました。

荒利益額につきましても、下期は改善傾向に転じ、年間累計の売上総利益率は２４．７％（当初計画２４．６％）と概ね計画どおりの見通しとなりましたが、売上高未達成に伴う荒利益額の不足に加え、人件費や販促費等、経費の削減が進まず、販売費及び一般管理費の伸びが営業総利益の伸びを上回った結果、営業利益・経常利益ともに計画を大幅に下回る見通しとなりました。

当期純利益につきましては、減損損失は７７４百万円と概ね計画どおりとなりましたが、経常利益段階の不足額が大きく、当期純利益についても当初予想を大きく下回る見通しであります。

以上の理由により、２０１４年２月期通期の業績予想を修正いたします。

３．特別損失の計上

減損損失　７７４百万円

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社の保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、下期の店舗に係る減損損失は２０６百万円となり、上期に計上した５６８百万円と合せ、通期で７７４百万円を特別損失に計上いたします。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上